

東京2020オリンピック・パラリンピック渇水対応行動計画素案

テスト結果

2019年8月26日

東京2020オリンピック・パラリンピック渇水対策協議会

協議会構成員

国土交通省関東地方整備局・経済産業省関東経済産業局・農林水産省関東農政局・(独)水資源機構
東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県・茨城県・群馬県・栃木県

■洪水期におけるダムの弾力的管理

- 2019年夏期においては、藪原ダム等の計9ダムで実施。
- 活用容量に最大で貯留した水は、7月24日時点において620万m³、8月21日時点において622万m³になりました。

ダムの弾力的管理 2019年夏期の実施状況

●7月24日時点（第32回オリンピック競技大会開会式同日）

	水系	ダム名	管理者	実施状況	7月24日時点	弾力的管理試験実施諸元
					活用貯留量※（万m ³ ）	活用容量（万m ³ ）
1	利根川	藪原ダム	国交省	○	155	180
2	利根川	川俣ダム	国交省	-	0	422
3	利根川	下久保ダム	水機構	○	103	110
4	利根川	草木ダム	水機構	○	69	100
5	荒川	荒川貯水池	国交省	○	99	99
6	荒川	滝沢ダム	水機構	○	23	28
7	相模川	宮ヶ瀬ダム	国交省	○	171	410
計					620	1,349

●8月21日時点

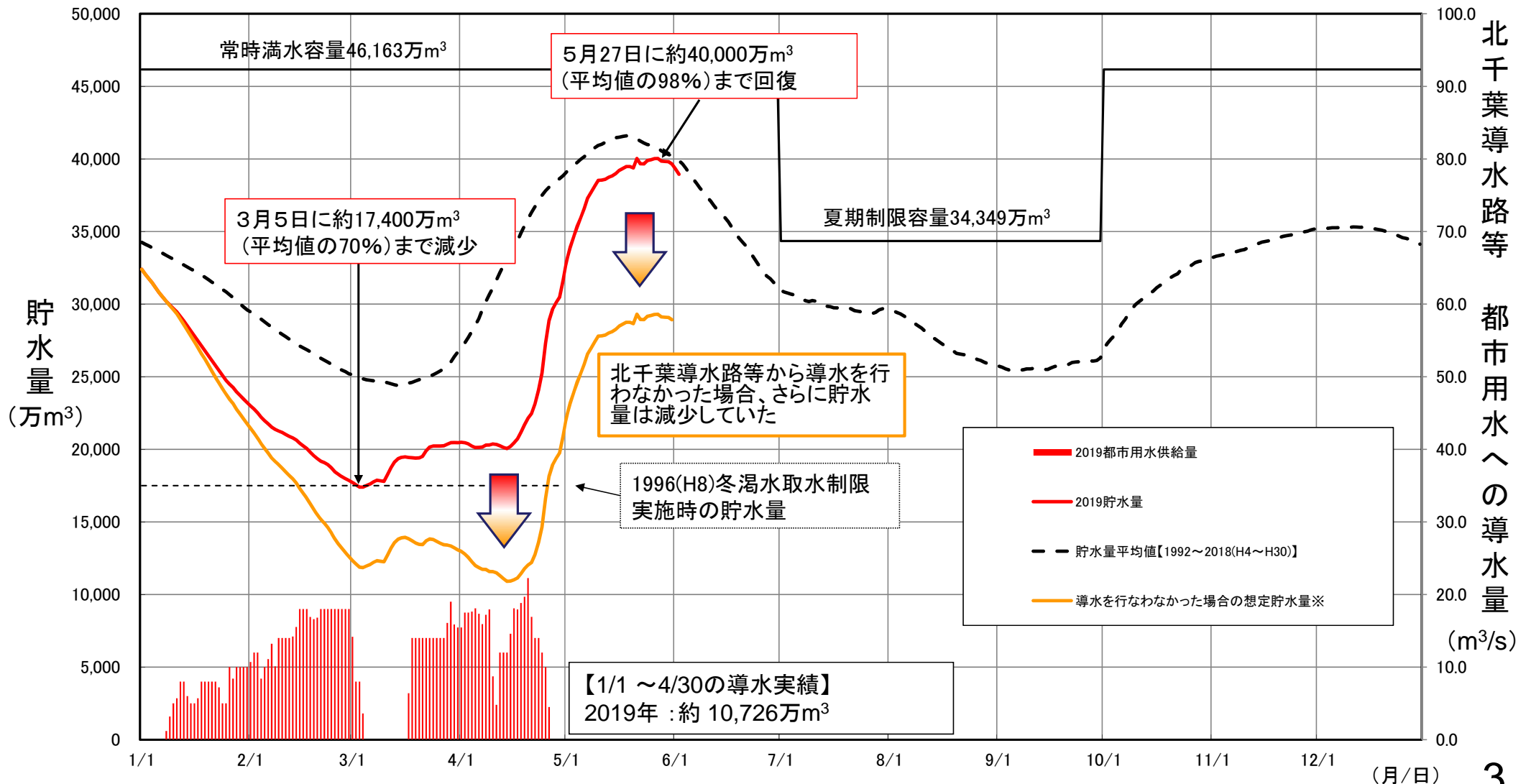
	水系	ダム名	管理者	実施状況	8月21日時点	弾力的管理試験実施諸元
					活用貯留量※（万m ³ ）	活用容量（万m ³ ）
1	利根川	藪原ダム	国交省	○	155	180
2	利根川	五十里ダム	国交省	○	0	194
3	利根川	川俣ダム	国交省	○	0	518
4	利根川	川治ダム	国交省	○	0	328
5	利根川	下久保ダム	水機構	○	103	110
6	利根川	草木ダム	水機構	○	71	100
7	荒川	荒川貯水池	国交省	○	99	99
8	荒川	滝沢ダム	水機構	○	23	28
9	相模川	宮ヶ瀬ダム	国交省	○	171	410
計					622	1,967

※ 活用容量に最大で貯留した水

■北千葉導水路等の運用

- 2019年は、年明けからの少雨を受け、江戸川の流況が悪化したため、1月上旬から北千葉導水路等により江戸川へ都市用水の導水を行った。(1月～4月末に総導水量約10,726万m³)
- 利根川上流ダム群(8ダム)の貯水量は、3月5日に約17,400万m³まで減少したが、北千葉導水路等の効果や春先の融雪により、5月27日に約40,000万m³(平均値の98%)に回復した。

利根川上流ダム群(矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、藪原、草木、下久保、渡良瀬貯水池)の貯水量及び北千葉導水路等 都市用水への導水量



※導水を行わなかった場合の想定貯水量(m³)=利根川上流ダム群(8ダム)貯水量(m³) - 北千葉導水路等による都市用水への導水量(m³)